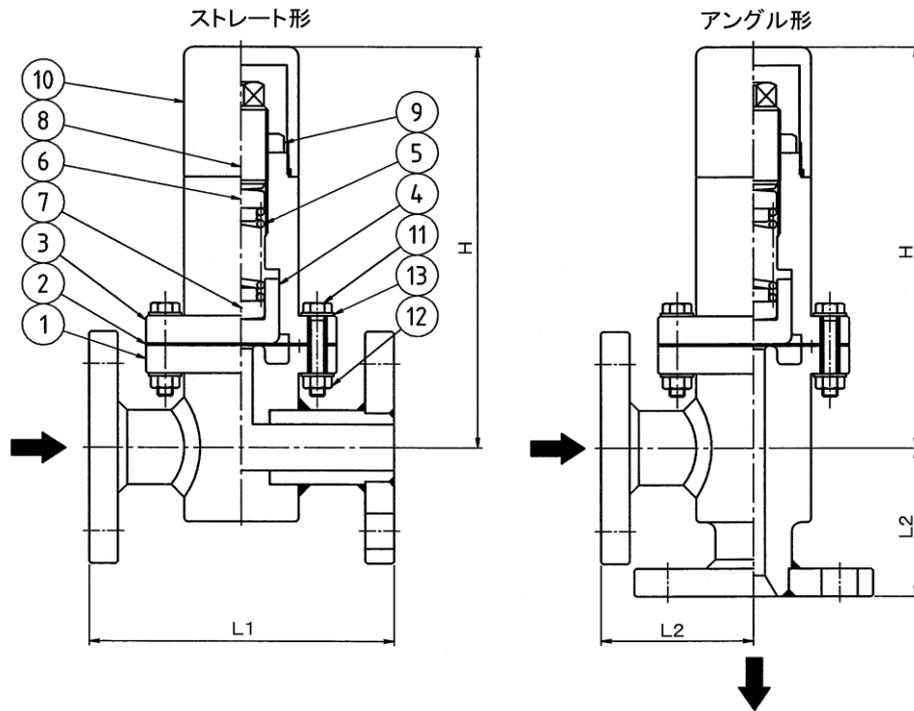


902型 隔膜式背圧弁・A902型 アングル形隔膜式背圧弁 (安全弁)

- 硬質塩化ビニール製 (PVC)
- ポリプロピレン製 (PP)



<特長>

- 主に水、各種化学薬品等の液体に使用されるダイヤフラム直動式の構造で、作動確実な背圧弁です。
- スプリング作動部はダイヤフラムで接液部と完全に仕切られています。接液部に金属を一切使用しておりませんので、腐食性の薬品に侵される心配がありません。
- 取付は縦置でも、横置でも使用できます。

<902 & A902型(標準型) 寸法表>

材質	呼び径A	15	20	25	32	40	50	65	80
	B	1/2	3/4	1	1 1/4	1 1/2	2	2 1/2	3
PVC PP	L1	150	150	160	180	180	200	250	280
	L2	75	75	80	90	90	100	/	/
	H	211	214	216	266	266	321	411	421

(機能)

- 安全弁として
- リリーフ弁として
- 落下防止弁として
- サイフォン防止弁として
- 差圧流出・逆流防止弁として

(用途)

- 特に電子工業、半導体工業、その他精密工業の禁油ライン、純水装置用
- 酸、アルカリ、各種化学薬品用
- 浄水場、工場用排水処理プラント用
- メッキ工場、メッキ液配管用など

<902 & A902型(高圧・高能型) 寸法表>

材質	呼び径A	高圧型				高能型			
		15	20	25	32	40	50	65	80
	B	1/2	3/4	1	1 1/4	1 1/2	2	2 1/2	3
PVC PP	L1	150	150	160	200	200	220	300	300
	L2	75	75	80	100	100	/	/	/
	H	222	224	227	317	317	412	432	452

※FRP補強製背圧弁の各寸法はこの表に従っていません。

<仕様>

(接続・サイズ)

- PVC・PP
- フランジ式 : 15~80A
- ねじ込み式 : 15~25A(PVC製の標準型のみ)

(設定圧力) ※次頁参照

- 標準型
15~80A...可能設定圧力 0.05~0.33MPaG(0.5~3.4Kg/cm²G)
- 高圧型
15~25A...可能設定圧力 0.34~0.56MPaG(3.5~5.7Kg/cm²G)
- 高能型
32~40A...可能設定圧力 0.05~0.56MPaG(0.5~5.7Kg/cm²G)
50~80A...可能設定圧力 0.05~0.36MPaG(0.5~3.7Kg/cm²G)

※上記以外の圧力の場合にご相談下さい。
 ※高能型は標準型に比べ吹出し流量に優れた製品です。
 ※上記設定圧力から±0.04MPaの微調整が可能です。
 (但し、最小設定圧力は0.05MPaとなります。)

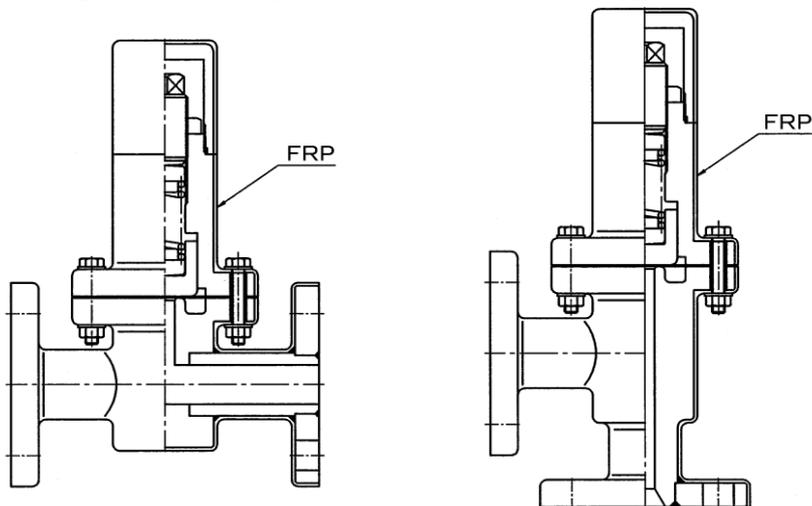
※PP製およびPP+FRP製はサイズにより可能設定圧力が上記範囲と異なりますので事前にご確認ください。

(部品表)

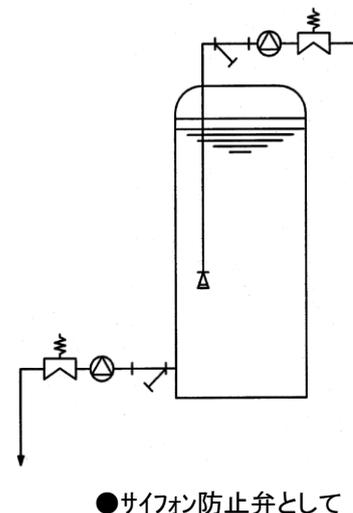
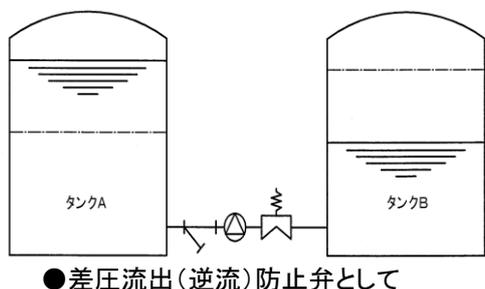
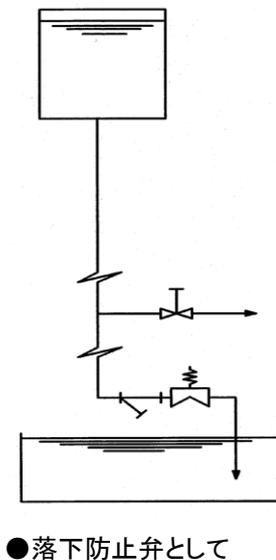
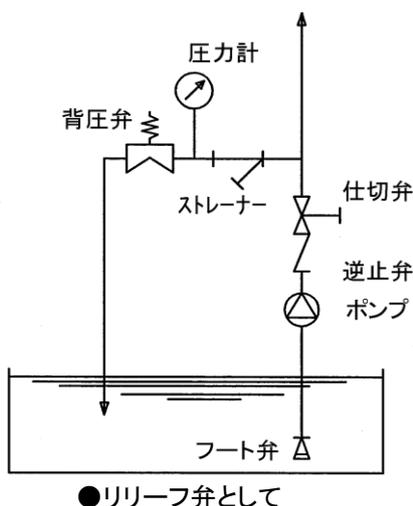
番号	名称	個数	材質	
			PVC製	PP製
1	本体	1	PVC	PP
2	ダイヤフラム	1	PTFE	PTFE
3	ボンネット	1	PVC	PP
4	コンプレッサー	1	PVC	C-PVC
5	スプリング	1	SWPV	SWPV
6	スプリングホルダー(1)	1	PVC	PVC
7	スプリングホルダー(2)	1	PVC	PVC
8	調整ボルト	1	PVC	C-PVC
9	ロックナット	1	PVC	C-PVC
10	キャップ	1	PVC	PP
11	六角ボルト	1式	SUS304	SUS304
12	六角ナット	1式	SUS304	SUS304
13	座金	1式	SUS304	SUS304

FRP補強製 背圧弁

●高圧設定や危険な液体に使用する場合、FRP補強も製作しております。



隔膜式背圧弁の使用例



902・A902型 隔膜式背圧弁の設定圧力について

<設定圧力>

●ご注文の際には必ず設定圧力をご指示ください。ご指定の設定圧力に弊社工場に設定し出荷いたします。一次側圧力が設定圧力の80%以下までは、背圧弁が完全締切り状態になっており、一次側圧力が設定圧力の80%を越えると、二次側へ液体が流出し始めて、設定圧力では、二次側へ液体が相当量流出するように設定しております。

例えば、設定圧力が0.3MPaGの場合、一次側圧力が0.24MPaGでは液体は流出しませんが、0.24MPaGを越えると流出し始めます。ただし、二次側からも圧力がかかると0.24MPaGより低い圧力で流出することがありますのでご注意ください。

<設定圧力の変更>

●スプリングは指定された設定圧力で最も有効な性能が得られる様に設計したスプリングを使用しています。スプリングを取替えずに設定圧力を変更する場合、出荷時設定圧力の、±0.04MPaG以内の変更は可能です。

<設定圧力の調整方法>

- 1) 上部のキャップを取り外す。
- 2) ロックナットをゆるめる。
- 3) 設定圧力を高くしたいときは、調整用ボルトを右回しに締める。
- 4) 設定圧力を低くしたいときは、調整用ボルトを左回しにゆるめる。
- 5) 調整後、ロックナットを締め、上部のキャップを締める。